

誠光水道新聞

10月10日号

発行元 有限会社誠光設備工業
〒663-8003 電話 0798-53-5786
兵庫県西宮市上大路 4-8-18
編集長 藤田 勉

あと15センチやのに何でやネン事件

事件は西宮市でも高級住宅地として人気の高い苦楽園で起きました。仕事内容は、ある新規のお客様からの依頼で仕入れた土地に隣地3件分の共同の浄化槽があるので撤去してほしいという依頼だった。このお客様との出会いにもドラマがあるのですがそれは次の機会にとっておいて、話を元に戻すと浄化槽を

使っていた隣地の方も他人地に浄化槽を設けるといふには理由もありまして簡単に「はい撤去します」とはいかない。下水を流すところがないの

で浄化槽を使用していたのですから隣地さん3戸分の下水施設を新設してあげないといけない。隣地さん3戸は階段通路の中腹にありその階段踊り場に下水タンクを設置してポンプで階段上に接道してある私道内下水道に放流する工事になる。

階段の踊り場というが踊るどころか道具を置く場所もろくに確保できないところでの作業になった。隣地さんの協力もあり工事が決まった。

おかげさまでセイコー新聞も第3号の発行になりました。私もパソコンが得意というわけではございませんので実はこの縦書きが非常に効率の悪い仕事になっているわけでした、横書きに変えようかなあと考えております

でもそんなの関係ネエ!

セイコーは毎日毎日掘っております。今日は川西、明日は東灘、そして宝塚の売布というようにとにかく毎日掘っています。掘っているとなにかと出てきます。前回8月号では管を保護するコンクリートが出てきて大変だったという現場のことを載せたのですが、今回はそれどころじゃあない。「これ、どないすんの」という愕然とする事態が起きました。

その名も



工事が始まると浄化槽を使用しながらまず新しい下水タ
 ンクを設置する工事に取り掛かった。ポンプの高さは1
 m50センチほどあり手作業での掘削作業が始まった。
 近くには共同の雨水会所もあり限定された箇所での作業
 であった。掘削から2日目、今日でポンプを据えようと
 いう日の昼に長谷川君から「シャチョウ！ごっついの出
 てきました」という電話がありました。意味わかりませ
 ん状態だったのでリーダーの外園さんに聞くとあと15
 センチほどで掘りきるところで岩盤と思われる転石が出
 たということだった。とにかくこれを破壊しないとポン
 プは収まらない。仕切りなおして削岩機を用意した。
 削岩機での作業は2日間続い
 た。しかし1.5m下の石を
 持ち上げるのは人力では無理
 チェーンブロックをつかって
 慎重に吊り上げた。しかしこ
 の現場の難題はこれだけでは
 なかった。トホホ。。

いろいろな現場に感謝。



《連載小説》 華麗なる水道屋 第三回

谷山の楽しいオーナーとしての毎日は続いた。幸い
 男前ではなかったのが救いだ。ラウンジのオーナーとし
 ての日々を凌駕していた。

鉄平は谷山のあとを狙っている野心などチリひとつも見
 せず毎日仕事をこなしていた。谷山はほとんど毎日のよ
 うに店が終わると食事に連れて行ってくれた。鍋料理や
 寿司、焼肉を夜中3時から食べる。鉄平は50キロ台だ
 だった体重が80キロになっていた。

谷山におごってもらう毎日の中に土曜日の夜中から出
 かけてそのまま北陸のほうまで温泉に出かけるという日
 もあった。日曜日の夜は温泉で泊まって、月曜日のお昼
 に帰り夕方から店にでるといふ少しハードではあったが
 楽しいアフター5？をすごさせてもらっていた。

その頃鉄平には彼女がいたが店の娘を好きになるとい
 ちよつとした軽い病気持ちであった。あるときは本気で
 グループ店の女の子を好きになってその店長にカミン
 グアウトしてその店長の前で「愛は勝つ」を熱唱して本
 気度を見せつけ応援してもらった。その娘はおとなしく

広告主大募集！！

今なら A4 サイズ全面広告でなんと 500 円進呈！！

不動産屋さん、工務店さん等どうぞお気軽にお声をおかけ下さい。

水道屋さんはキッパリお断りします。

清楚な感じで、石田ゆり子に似た鉄平のタイプだった。鉄平はみんなの協力の下ご飯に誘い出すことができた。会話は初めてゆっくり話すとは思えないほどスムーズに運び時間はあっという間に過ぎ去った。《続く》

神戸市下水改善工事のお知らせ

セイコーが神戸市での工事を自社施工するようになったのは先月号でお伝えしましたが、今回は神戸市で事業をされる事業主様にお知らせがあります。

西宮でもありますが、仕入れた土地に下水は台帳では入っているが現地に無いとか、あるけど使い物にならないとか道路上に铸铁製の蓋がついた枒があるとかいろいろありますよねえ。こんな場合ほとんど事業主負担で改修工事をセイコーみたいな水道屋に見積らせて工事を依頼するわけですが、神戸市の場合、そういった中途半端な枒があれば神戸市負担で改善工事を行います、しかし事前に都市整備公社宛に調査依頼をかける必要があります調査をした担当者から連絡がセイコーら業者に入り見積を提出して公社から工事の依頼があるという手順です。

しかしこれを知らないで業者に見積もりさせると、この制度を知らない業者は事業主の負担で工事にかかるでしょう。セイコーの場合 2 回調査をかけて 2 回とも公社のほうから発注がきました。枒のみの交換制度もありますので神戸市で事業をされる方いましたら是非セイコーを紹介してください。なんたってお金の負担なしで新しい公共枒が設置されるんですから、この前の下水なんか深く、道路も広くて下水 1 箇所だけで 85 万円オーバーですよ。こんなのお得意様にはどう説明すればいいかわかりません。でも公社の場合は「はい、それでいきましょうか」の一言でオツケイ。みなさんなら無理したら使える公共枒に対して 85 万円払えますか？

制度は知ると知らないで大きな違いそして使う使わないで大きな違い。中には知っていてもめんどくさがって事業主に「はい見積もりです」って言う業者もあるかも。

これからもいろんな制度を見つけてお知らせしていきますので役に立つ誠光新聞をよろしくです。

はい。オツパッピー

朝一番の水は飲み水以外にお使い下さい

■ 鉛製給水管について

昭和 63 年以前に建築された建物等では、給水管の一部に鉛管が使用されている可能性があります。

朝一番や日中留守にした日の夕方、旅行などで長時間水道を使わなかった場合は、水道水中の鉛濃度が高くなったり、消毒用の塩素が少なくなることがあります。

このため、使い始めのバケツ一杯程度 (約 10 L)

の水は、トイレ (1 回で 8 ～ 12 使用) や洗濯等、飲み水以外にお使いいただく事をお勧めします。なお、これまでの調査結果でも、通常の使用状態では、消毒用の塩素は適量であり、鉛の濃度も水質基準値以下となっておりません。

水道局では、配水管の修繕や取替え時に道路部分の鉛製給水管を他の材質のものに取り替えています。

鉛製給水管が使用されているご家庭で、これから建替えや増改築などを行う場合には、給水管の取替えをお願いいたします。

上記は水道局ホームページより抜粋したものである。

このように水道局では水道受給者に対して鉛管の影響についてお知らせを随時しております。古い既設管を使用するしないは、工事申込者に委ねられますが、物件を高額な値段で購入するエンド様のことを考えると新築時に新しい管で整備してあげるのが親切でしょう。

最近の事業主様は充分理解していただいておりますが、今一度鉛管についての理解のほどよろしく願います。

■ 鉛の水質基準

平成 4 年 12 月、厚生省 (現厚生労働省) は鉛に係る水質基準をそれまでの 0.1 mg/L から連続的な摂取をしても人の健康に影響を生じない水準として 0.05 mg/L に改正しましたが、長期的には水道水中の鉛濃度の一層の低減化を図る為、平成 15 年 4 月から 0.01 mg/L とより厳しい基準値となっております。